

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われるものの概要

【 名 称 】 中森家住宅主屋（なかもりけじゅうたくしゅおく）	1 棟
中森家住宅離れ（なかもりけじゅうたくはなれ）	1 棟
中森家住宅前蔵（なかもりけじゅうたくまえぐら）	1 棟
中森家住宅蔵（なかもりけじゅうたくくら）	1 棟
中森家住宅門及び土塀（なかもりけじゅうたくもんおよびどべい）	1 棟
中森家住宅井戸屋形及び板塀 （なかもりけじゅうたくいどやかたおよびいたべい）	1 棟

【 所在地 】 伊賀市上野玄蕃町

【 年 代 】 主屋：江戸末期／昭和前期・昭和50年改修

離れ：大正初期、前蔵：江戸末期、蔵：江戸末期／昭和中期改修、
門及び土塀：江戸末期

井戸屋形及び板塀：江戸末期、

【 建築面積 】 主屋：106㎡、離れ：37㎡、前蔵：9.1㎡、蔵：30㎡、

門及び土塀：間口1.8m、延長9.9m

井戸屋形及び板塀：12㎡、延長7m、

中森家は藤堂家重臣である藤堂新七郎家の家臣で、中森家住宅は伊賀上野城下町の中でも武家屋敷が多く建てられた地域に位置します。主屋は質素な造りで、上野城下に残る他の武家屋敷の主屋より一回り小さい木造平屋建の建物です。敷地内にはこのほか離れや二つの蔵、井戸があり、門と土塀で区画されています。主屋・蔵・門・塀がまとまって残っている屋敷は少なく、武家屋敷のたたずまいをよく残す建物群です。



外観



離れ